

ピースフェスティバル

一生懸命練習してきた歌とダンスの発表です。皆緊張していましたが、本番は堂々と楽しそうに歌って踊ってくれました。

ふきのとうのブースでは、みたらし団子とシフォンケーキ・クッキー・手作りお味噌・手作り梅干しを販売しました。



みたらし団子は早い時間に完売し、クッキーやお味噌や梅干しも大人気で、たくさん買っていただきました。



メンバーさんたちは各々好きなブースに出向き、美味しそうなお昼ご飯を嬉しそうに食べていました。



映画「夜明け前」を観て

生活支援員 T.T

この映画でまず非常に印象に残ったのが、「我が国何十万の精神病患者は実にこの病を受けたる不幸の外にこの国に生まれたる不幸を重ねるものというべし」というフレーズ。

劇中では監護法下における座敷牢といった、精神病患者が厳しい仕打ちを受けてきたといった紹介があり、ただ単にかわいそうといった安直な感想を抱くのは簡単だが、私が一番強く感じたのは現代社会への問いかけだと思う。

ここ最近では寝屋川監禁死事件、障害者雇用増し問題といった不幸を重ねる事態が発生し、この国に生まれた不幸を、時代とともに繰り返してしまっているのではないかと思う。

ならば我々は、この映画を見て呉秀三の精神を知り、それをまたこの時代に学びなおし、障害者の受け皿になり、支えであるべきだと感じた。



投稿 樹木希林さん 75歳 安室奈美恵さん 40歳 大坂なおみさん 20歳 のこと など 2018年9月17日 敬老の日に Y・M

ニュースで3人が話題になっています。それぞれの年代の女性。少しコメントを。

樹木希林さん 死に際 立派。全身ガンを抱えながら3本の映画を撮っている。その中には世界的な賞をとった「万引き家族」もある。

安室奈美恵さん 引退の最後のステージを 故郷「沖縄」で 「沖縄の歌」を歌う。

大坂なおみさん テニス アメリカで 優勝。

大坂さんをはじめ、世界で活躍する若い人が増えてきている。大谷翔平さんや羽生結弦さんなど大活躍である。

話は変わるが、昔、世界的に有名だった「藤田嗣治」を皆さんは知っていますか？彼は戦争の時代に生き、「戦争画」を描き、故郷日本からのがれるように海を渡り、日本を捨て、外国で没しました。世界的名声を得ながら戦争画を描いたために、そのような境遇に置かれた「藤田嗣治」。その悲しみ・苦しみを思う時、戦争の時代に生きた画家の不幸を思う。彼は「戦争の犠牲者」だ。私は強くそう思う。若い人の世界的な活躍を知るにつれ、「平和」について考える。

“平和 だからこそ 能力は 花開く”と

一九八四年八月二〇日 第三種郵便物承認 毎月 二・三・四・五・六・七・八の日 発行



災害警報における早期避難を!!

社会福祉法人ふきのとう 理事 岩下 豊

新年明けまして おめでとうございます。

今年は4月末日をもって平成が終わり、5月から新しい時代(元号)となる節目、記念すべき年であります。

新しい時代が、障害者(弱者)にとって少しでもよくなることを願ってやみません。

昨年は、中央省庁から都道府県のほとんどにおいて障害者雇用の数合わせ水増し問題が発覚し、障害者雇用に率先して取り組むべき立場の行政機関が不正を働いていたもので、国民・特に障害者に対する重大な裏切り行為であります。

これを受けて国では、障害者の法定雇用率の引き上げとともに身体障害者だけではなく、知的・精神障害のある人の雇用も推進するとしていますが、このことよりも外国人労働者の受入拡大ばかりに力を傾注しているなど、またまた障害者雇



用がおざなりにされるような気がしてなりません。

また、昨年は異常気象の一年でもありました。夏はお盆を過ぎてからも35℃以上の猛暑日が長く続くなど本当に異常な暑さでした。

自然災害も、大阪北部地震、西日本豪雨災害、北海道の地震と大災害が連続して発生しました。本県は大災害の発生が少なく(南部を除いて)防災意識の脆弱が危惧されています。

大和盆地には生駒断層帯などがあり、1510年、1936年にはマグニチュード6強の大地震が発生してかなりの被害が出たということでもあります。障害者と一緒に住んでおられる家族においては、一層防災意識を高め、地震に対する備えや、災害避難準備情報発令時からの早期避難を心がけることが大事であると思います。

最後になりましたが、つくしの会(ふきのとう家族会)では、家族の福祉に関する勉強会の一環として、ふきのとうにおいて上映権を購入された「きょうされん自主作成映画(夜明け前)」の上映会に参加、観劇をさせていただきました。本年3月にも、新作「星に語りて(東日本大震災における障害者によりそった活動等をテーマ)」の上映権購入、上映会をされます。

つくしの会においても再度の参加を予定(家族会で観劇料を補助する)していますので、できるだけ多くの家族の皆さまが観劇されますようによろしくお願い申し上げます。

ふきのとうの動き

- | | | |
|-------|-----------------|------------|
| 平成30年 | 12月 2日 | ピースフェスティバル |
| | 10月 7日 | ふれあい交流会 |
| | 11月 1日 | ピクニック |
| | | 5日 味噌づくり |
| | | 7日・9日 映画鑑賞 |
| | 12月 25日 | クリスマス会 |
| | | 28日 大掃除 |
| | 29日~平成31年 1月 6日 | 冬季休業 |

編集人 社会福祉法人ふきのとう ふきのとう便り編集委員会
 連絡先 〒632-0052 奈良県天理市柳本町 2036 番地 1 TEL 0743-67-1099 FAX 0742-84-7738
 HP <http://www.fukinotou.or.jp/>
 E-Mail fukinotou1099@fukinotou.or.jp
 発行人 関西障害者定期刊行物協会
 〒543-0015 大阪府大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル 4F 定価: 10 円



今回は柳本小学校の運動会と重なったため、小学生やその親御さんの来場が見込めない中、

一体どのくらいの来場客があるかということが全く読めませんでした。そのため例年は「たません」を販売していましたが、売れ残ると大変なので、今年は

10月7日(日)

「おにぎり」を販売することにしました。

でも思ったより来場者数が多く、早い時間におにぎりと五平餅が売り切れ、ケーキ・クッキーもほとんどなくなっていました。

ステージ出演での歌とダンスも練習の成果を思う存分発揮することができました。

今年もみんな笑顔で過ごすことができ、大成功の一日でした。



ふれあい交流会

ピクニック

ピースフェスティバル

ピクニック

ふきのとうでは11月1日に大宇陀方面へピクニックに行ってきました。



11時30分ごろ目的地の『カエデの郷ひらら』

に到着。ここは閉校した古い小学校の校舎をそのまま使っていて、普段はドラマの撮影やコスプレのイベントなんかに使われているそう。



その古い校舎の教室を借りて、みなでお昼ご飯を食べました。木造校舎の教室にみんなが集まっているところを見ていると、なんだかあの頃にタイムスリップしたみたいです。

昼食の後はおみやげ屋さんで改装されたところで宇陀の特産品を見てみたり、今にも花子さんが出てきそうな古い校舎を探検したりと、思い思いに過ごしました。

そして校庭に出てみると、ちょうど色づき始めたカエデが3000本も植栽されていて、み



んなのテンションもMAXに。広い校庭を散策したり、ベンチに座っておしゃべりしたり、記念撮影をしまくったりして過ごしました。

そうこうしていると予定の時間がオーバーしてしまって、国宝の建物があるという近くの神社にも行こうと思っていたのですが、こちらは取りやめてしまいました。

そして向かうはみんなが大好きなお買い物、大宇陀の道の駅へ出発です。そこには珍しいソフトクリームや足湯があってそれなりに楽しかったのですが、隣にコンビニもあり、そっちのほうが楽しかったメンバーもいたみたい。



珍しいところにも行けましたし、買い物もできてみんな大満足のピクニックでした。

映画上映

夜明け前 呉秀三と無名の精神障害者の100年



きょうされんが40周年記念事業としてオリジナル映画を制作し、ふきのとうはその映画の上映権を購入いたしました。

今回は11月7日(水)サントアースII、9日(金)にふきのとうで、メンバーさん、スタッフ、家族会の皆様、理事や評議員と一緒に鑑賞しました。

今回の映画は「夜明け前」(66分間)という映画で日本の精神医療の父と称せられ、伝説の人となっている呉秀三と無名の精神障害者の100年のドキュメンタリー仕立ての映画でした。心を病んだ人々は、なぜ閉



じこめられなければならないのか? 精神の病とは……、人間の尊厳とは……、今突きつけられる問いかけ!を提言して

いる内容です。

今回はドキュメンタリーで非常に重いテーマでしたが、メンバーさん全員席も立たずに鑑賞していました。

次の映画鑑賞は本年3月頃の予定で、「東日本大震災と障害のある人」を主題としたドラマ風の長編映画で、大震災の中で懸命に生き抜こうとする障害のある人と家族の姿、それを支える支援者の奮闘、それらを厳しさとやさしさを折々のユーモアで表現し、事実を元にしたドラマでタイトルは「星に語りて」(約120分)です。ご案内させていただきますので是非ご鑑賞をお願いいたします。